

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M232W305	地域包括ケアマネジメント論 (Integrated Community Care Management)	専門教育科目 統合分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	3	後	金・1,2	脇 幸子 内線： 5052 E-mail: syamasit@oita-u.ac.jp

#### 【授業の概要・到達目標】

地域包括ケアシステムの中で社会生活上の多様なニーズを充足させるため、適切な社会資源と結びつけるネットワークやマネジメントの方法論、保健・医療・福祉の多職種連携、さらに今後の看護の実践にどう活かすことができるのかを探求する。特に地域・在宅ケアを必要とする人の事例を用いて、個人・家族の側面から看護過程や多職種連携、ケアマネジメントの意義について学ぶ。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 地域包括ケアマネジメントの概念・目的・機能を理解する。				○	○		
2. 看護と介護を連携させる機能について理解する。			○		○		
3. 地域包括ケアマネジメントの実際を理解する。				○	○		○
4. 保健・医療・福祉等の多様な場での多職種連携における看護の役割と課題、ケアマネジメントに必要な能力について考える。				○	○		○

#### 【授業の内容】

1	地域包括ケアマネジメント 概説
2-6	事例で学ぶケースマネジメント・ケアマネジメント・ケアコーディネーションの実際 事例検討・グループワーク・ディスカッション *慢性疾患を持つ人 *認知症のある高齢者 *精神疾患を持つ人 *在宅ケア・介護の必要な人
7.8	グループワーク・全体ディスカッション 保健・医療・福祉等の多様な場での多職種連携における看護の役割と課題 ケースマネジメントに必要な能力

#### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	授業終了時の授業評価シート、課題レポート	多様な見方に気づくため、全事例に対するグループ・ディスカッション・全体発表を行い（既習の関連科目の復習や事例についての調べ学習が必要）、その学びから、最終課題についての示唆をディスカッションする。
B：意見の表現・交換	○	発問・グループワーク ディスカッション・発表	
C：応用志向	○	グループワーク・事例検討	
D：知識の活用・創造			

#### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	事例検討・グループワーク・全体ディスカッションおよび課題レポートに向けての準備 (8h)
事後学修	事例検討・グループワークからの学習シートの作成、課題レポートの作成 (4h)

#### 【教科書】

授業時に適宜提示する

#### 【参考書】

授業時に適宜提示する

#### 【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
授業への参加態度、事例レポート、プレゼンテーション力	50%	○	○	○	○
課題レポート	50%	○	○	○	○

#### 【注意事項】

特になし

#### 【備考】

授業評価シートの提出をもって出席状況を確認する

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	脇幸子（看護師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		
授業形態	面接授業	